

# 四万十清流タイムズ 第1号

## 四万十高校学校新聞

平成 25 年 7 月 19 日発行

### PTA 会長あいさつ

門脇郁夫

平成 25 年度の P T A 総会において会長に再任されました門脇郁夫です。

役員として最後の年になると思いますが皆様の御指導、御助言を頂き一生懸命努めてまいりたいと思いますのでどうぞよろしくお願い致します。

さて、本校も昭和 29 年に高知県立窪川高校大正分校として開校し、昭和 40 年に大正高校、そして平成 11 年に四万十高校に改称して来年は 60 周年を向かえることとなりました。県下で唯一の自然環境コースも設置され、特色と活気ある学校づくりを生徒、教職員の皆さんが一丸となって取り組んでいます。

しかし、ここ数年著しい生徒数の減少傾向に加え、高知県の高校再編復興計画が進む中、本校は存続に向けて大変厳しく重大な岐路に立たされています。

そんな中、皆さんにもっと四万十高校の状況を知って頂きたく久々に学校新聞の発刊となりました。

今後、四万十高校に進んでくる子供たち、また地域のために四万十高校を守り育てる会、教育振興会、同窓会の皆さんのご協力をいただき何とか本校を存続していくために盛り上げてまいりたいと思いますので関係各位、また地域の皆様におかれましては、今後共より一層四万十高校への御支援・御協力をよろしくお願い申し上げます。

### 学校長あいさつ

豊嶋寿昭

この春から四万十高校の校長として着任し、はや 3 ヶ月ほどたちました。地域のことや学校のことでは分からないことがまだ多くありますが、自然環境教育や生徒の就職など多くの面で地域からご支援をいただいていること、逆にそれだけ地域の高等学校としての責任が大きいことを痛感しています。

生徒の皆さんの持つ力の大きさを 5 月の遠足で教えてもらいました。南海地震に伴う津波に対する心構えを持ってもらいたいと思い、遠足の行き先を入野の浜から浮津の浜に変更し、帰りのバスに戻る際に、浜から高台にある地域の避難所まで早足で移動することを提案しました。急なお願いでしたが、生徒会の皆さんは、砂浜でのイベントの企画と避難ルート設定のための現地調査を行い、両方の準備をしてくれました。

部活動や生徒会活動、ボランティア活動などに積極的に取り組む生徒たち、四万十高校を陰に日向に応援してくださる保護者・地域の方々、地味ながらもコツコツと取り組む教職員、これら三つの力の結集のシンボルとして発刊する学校新聞に対して、多くの皆様からご意見くださいますようお願い申し上げます。



# 生徒会より

任期を終えて

門脇 沙耶

後期の生徒会は、卒業式や1年生の宿泊研修、遠足に向けての準備が主な活動でした。各行事とも、やるべきことが多く、皆と夜遅くまで準備したこともありましたが、意見のぶつかり合いもありましたが、そういうことがあったからこそ、各行事の成功につながったと思います。後期役員の中には、引き続き前期役員に入っている人もいますが、11人それぞれがこれからの学校行事でも活躍してくれると思います。

私自身としては生徒会長として人前で話をすることや、リーダーとなって皆に指示をしたことなど、様々な経験をすることができました。小中学生の頃も生徒会役員はやっていましたが、リーダーとしての責任やプレッシャー、大変さはその比ではありませんでした。任期を終えて実感していることは「思うだけではなく、行動することが大事」ということです。今後の自分自身の生き方にも大きな糧となった時間でした。

この学校新聞を通して、四万十高校の生徒も、自分たちの学校について今までよりも知ることができると思います。また、地域の皆さんにも、より多くの情報発信をしていけたらと思います。



前期生徒会長あいさつ

近藤 千玲

私が生徒会長に立候補したのは、後期生徒会役員として活動した時、行事を成功させる喜び



や、やりがいを感じたからです。そこから自分をもっと成長させたいという思いと、学校を引っ張っていきたいという思いが強くなり、会長に立候補しました。

また、四万十高校の目標は「自ら進んで行動する」となっています。私自身も積極的に活動に取り組みたいと思います。今年は、体育祭という大きなイベントがあります。思い出に残る体育祭になるよう、みんなで協力して頑張りたいと思います。

学校新聞をはじめたことで、地域の方との関わりがさらに出来ると思います。そして、四万十高校のことを、この新聞を通してより深く知ってもらえたら良いなと思います。

生徒会としても、四万十高校生としても、いろいろな活動に取り組んでいくので、よろしくをお願いします。



新旧生徒会長が握手：生徒昇降口前にて

# 県総体を終えて

ソフトボール部 主将・榎野 悠介



部員が少なく、とても苦勞しましたが、最高の試合ができて、とても楽しかったです。また、ここまでソフトボールをしてこられたのは、親はもちろん、先生方、マネージャ、チームメイトの支えがあったからだと思います。最後まで応援してくださった皆さん、本当にありがとうございました。



1回戦	四万十	7	—	0	山田
2回戦	四万十	3	—	1	中村
3回戦	四万十	1	—	5	高知工

バレーボール部 キャプテン・近藤千玲



高知南	2	—	0	四万十
土佐	2	—	1	四万十

最後の大会で勝つことができなかったのはとても悔しかったです。しかし、最後に土佐という強豪と戦

うことで、この試合では集大成が出せました。1年生は短い期間でしたが頑張ってくれました。このメンバーでチームとして試合に出られたことが嬉しかったです。

バスケットボール部 主将・横山 裕一



一人一人が全力で自分たちのプレーをすることができました。1回戦で敗れましたがこの試合で得たことをこれからの生活で生かしていきたいと思っています。



四万十  
35—155  
山田

卓球部 副部長・杉本 久佳



キャプテン不在の中、一生懸命頑張りましたが、力及ばず一回戦で敗れました。個人的にはもっとやれたと思いますが経験不足という面がでてしまいました。

最後の県体だったので悔しかったです。

シングルス	1回戦	0	—	3
-------	-----	---	---	---



## リレー随筆

学校の先生も昔は生徒だった……。そんなわけで先生の若かりし頃を振り返ってもらって徒然なるままに寄稿してもらおうコーナーです。

「高校生だった頃」

農業担当 水田直樹

「農業高校に行け。成績がよければ国立大学へ推薦がもらえる。それで大学へ行け。」父親に言われ、逆らうほどの勇気と理由もなく、なんとなく始まった高校生活。

農業高校は衝撃的でした。実習服(作業服)と地下足袋があり、校内を牛やトラクターが移動していました。私の家は農家で休日も手伝いを強制的にやらされ、嫌で嫌でたまらなかったのに学校でも農作業。教室に戻ればむさくるしい男子ばかり。「あ～、失敗したなあ……」と思いました。

そんな中で生徒会役員になりました。役員が協力して一つの行事を作り上げていく。この過程でいろいろなことがあるわけですが、それがすごく勉強になりました。チームワークと達成感が毎回感じられて、気が付くと生徒会長になっていました。現在の私を知る皆さんからすると、「どんな会長よ！」と一斉に突っ込まれそうですが、その通りです。周囲のメンバーに恵まれたからこそ、やりきることができたと思います。

また、次のステップとなる大学へ向けて英語と数学の添削ノートだけは毎日やらされました。いや、やりました。何かを継続して取り組むなんて中学までの自分では考えられないことでしたが、環境が変わったからでしょうか、これだけは続けることができました。そして3年の2学期からはセンター試験へ向けて「家に帰っても勉強できんやろ」と

毎日夜10時まで、遅いときには日付が変わるまで担任の先生と一緒に残って学校で勉強していました。つらくもありましたが、「試験が終われば合格だろうが不合格だろうが自由になれる」と自分に言い聞かせながら勉強しました。合格したから今の自分があるわけで、この時の担任の先生には今でも頭が上がりません。

長々と述べてきましたが、そんな母校は2年前に閉校となりました。地元を離れ、精神的に根っこの部分が失われたような気持ちもあります。すべての思い出が美しいわけではありませんが、やはりキラキラとしていたなあと思います。願わくは四万十高校のみなさんにもキラキラしたものとなってほしいと思い教壇に立つ現在です。

## なるほど四万十高校



校舎の屋上ではためく校旗ですが、みなさん、校章は何を意味しているか知っていますか？

上部の波の

ような3つのラインは清流四万十川を、下部の太いラインは四万十川の恵みによって育った豊かな山々をそれぞれ意味しています。

自然にあふれた環境で、高校生活を送ることができるということに、改めて思いを巡らせてみるのはいかがでしょうか。

## 四万十町内押しピンの旅

企画のコンセプト

知っているようで知らない、狭いようで広い四万十町。

テレビ番組に『日本列島ダーツの旅』というものがありますが、これを四万十町内に限定して、ダーツもないので押しピンを投げて刺さったところへ行くという企画です。

記念すべき第1回は

**【四万十町窪川中津川桑ノ又】**  
エリア。(右地図参照) 四万十高校から約40km、車で約50分、近くには松葉川温泉という温泉があります。



地域人のおんちゃんのお話

ここいらは年に3回ばあ、冬は-8℃になるき、まっことひやい。

田んぼと田んぼの境があるろう。あれは、基盤整備によって作られた橋ながよ。新聞でも取り上げられたが。いろいろ意見もあったけど、まあ便利にはなったねえ。記念碑が橋の所にあるき見てきいや。

今日は何ちゃあしてない。さっきまで、松葉川温泉の二階で昼寝しよった。おんちゃんは、朝三時に起きて、鹿が来ないように見回りをしゆうが。町役場の人に頼んで鹿を捕獲してもらいゆう。今年は、鹿と猪が38頭とれた。三日に一回鹿が出て畑のトウモロコシなどを食べゆうき、困っちゃう。

この取材日の気温が34度。暑い中でしたがおんちゃんは気さくに取材に応じてくれました。ありがとうございます。



基盤整備でつくられた橋「管井橋」



記念碑には歌も詠まれていました。

7～8月行事予定表

7 月			8 月		
日	曜	行 事	日	曜	行 事
1	月	水難訓練(3-2)	1	木	
2	火		2	金	
3	水	1学期期末考査① 教職員救急法	3	土	
4	木	1学期期末考査②	4	日	
5	金	1学期期末考査③	5	月	
6	土		6	火	
7	日	第1回英検(2次)	7	水	
8	月	1学期期末考査④	8	木	
9	火	1学期期末考査⑤	9	金	
10	水	一年生救急法	10	土	
11	木		11	日	
12	金	黒尊研修3-2	12	月	
13	土		13	火	
14	日		14	水	
15	月	海の日 土佐の海の世界学②	15	木	
16	火	週明テ(数)	16	金	
17	水		17	土	
18	木	ホームマッチ	18	日	
19	金	終業式	19	月	高知県高等学校家庭クラブ 連盟総会及び 指導者養成講座
20	土	地区別懇談会① 結の森ツアー	20	火	姉妹校交流(尾瀬高校来校) 進学補習
21	日	地区別懇談会②	21	水	
22	月	屋久島研修 企業合同説明会	22	木	農業クラブ西国大会
23	火	進学補習	23	金	
24	水	屋久島研修予備日 スキルアップ講習会	24	土	
25	木	農業クラブ高知県大会	25	日	
26	金		26	月	進学補習
27	土	全国自然環境サミット	27	火	土佐の海の世界学③
28	日		28	水	
29	月	進学補習	29	木	
30	火		30	金	
31	水		31	土	

広域体験入学(下旬予定)

編集後記

四万十高校生徒会広報部です。今回、学校のことをもっと保護者や地域の方に知ってもらいたいと思い、学校新聞の発行となりました。

初めてのことなので、お見苦しい点や「こうしたほうがいい」といった点などあるかと思いますが、ご意見やご要望など頂けると嬉しいですし、励みになります。その際は下記までお願いします。

学校では期末テストが終わりました。3年生にとっては進路に大きく影響するテストでしたが、どうでしたか？

すぐに夏休みですが、その夏休みもぼんやりしていると「アッ！」という間に終わってしまうかもしれません。みなさん、実りある夏休みにしたいですね。

編集部 竹内 茜

企画・編集

四万十高校生徒会 広報部

お問い合わせ窓口：四万十高校総務部

メール shimanto-h@kochinet.ed.jp

電話 0880-27-0034

FAX 0880-27-0477

ホームページアドレス

<http://www.kochinet.ed.jp/shimanto-h/>

学校ホームページも随時

更新しています。QRコードからアクセスして下さい。

